

I. 教育学研究科履修案内

1. 教育学研究科（専門職学位課程（教職実践専攻））の教育理念・目標

教育学研究科では、精深な専門知識と技能を授けることにより、創造性豊かな研究能力と高度な教育実践力を備えた人材を育成することを理念とし、教職と教科に関する高い専門的な知識と能力を修得し、学校教育に係る優れた実践能力と資質を備えた人材を養成すること、また現職教員の再教育にも努め、教員の資質の向上及び学校教育の振興に資することを目的とする。

この目標を達成すべく、以下に挙げる3つのポリシーに基づいた専門職学位課程(教職実践専攻)に則って教育を行います。

○教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のディプロマ・ポリシー

《子ども理解・特別支援教育実践コース，学級経営・授業実践開発コース，教科授業実践コース》

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を取得し、

- ・一人ひとりの児童生徒のニーズを理解し、的確に対応できる能力
- ・高い実践力を持ったスクールリーダーとなれる資質
- ・学級・学校の機能をより向上させるマネジメント能力
- ・優れた授業実践力と適切な教科指導力

を備えた者であると認められ、実践研究報告書（最終レポート）の審査および最終試験に合格した者に対し、教職修士（専門職）を授与します。

《管理職養成コース》

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を取得し、

- ・高い実践力を持ったスクールリーダーとしての資質
- ・よりよい学校組織を構築するマネジメント能力
- ・学校教育の現代的課題を解決する実践力
- ・一人ひとりの児童生徒の実態に応じて的確に対応できる教員を育成する能力

を備えた者であると認められ、実践研究報告書（最終レポート）の審査および最終試験に合格した者に対し、教職修士（専門職）を授与します。

実践研究報告書（最終レポート）の審査及び最終試験においては、提出された実践研究報告書（最終レポート）が、教育実践に関連する内容で、高度な専門的職業人に必要な理論と実務の両面にわたる実践性、明確な論証性などを有していること、更に、学位申請者が、ディプロマ・ポリシーに定められている能力等を備えていることについて評価します。

○教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のカリキュラム・ポリシー

《子ども理解・特別支援教育実践コース，学級経営・授業実践開発コース，教科授業実践コース》

- ・生徒指導・教育相談について：的確な子ども理解力を身につけ，生徒指導・教育相談を実施できる高度な力を育成する。
- ・学級・学校経営について：教育現場でリーダーシップを発揮し学校の諸機能を向上させ，学校や学級の経営に関するマネジメント能力について高い知識を修得させる。
- ・教科等の実践的指導法・ICTの活用について：教科の知識・技能を獲得しICT機器等も活用して授業改善のできる優れた授業実践力と教科指導力を身につけさせる。
- ・教育課程の編成と実施について：児童生徒の資質，能力，ニーズや現代的な教育課題を理解して教育課程を編成し実施できる高度な力を育成する。
- ・学校教育と教員のあり方について：地域社会との連携や協働に関する学びや教育実習を通して学校教育と教員のあり方について高い知識を修得させ，教育を担う専門職としての使命感と責任感を培う。

学修の構成と課程は，2年の修業年限を標準とした2年プログラム，所定の要件を満たす現職教員を対象とした修業年限1年の1年プログラム，教員免許を有しない学部卒業生を対象とした修業年限が3年の3年プログラムの3種類が設けられている。（別表1，3）

《管理職養成コース》

「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」を踏まえ，以下の資質・能力を育成する。

- ・学校教育のミッションと教育をめぐる国内外の動向を深く理解するとともに，確固たる教育理念を培う。
- ・学校教育の諸課題と子ども・保護者・地域の実態を把握したうえで，自校のビジョンを形成し，実践・検証・改善する資質・能力を育成する。
- ・保護者・地域・関係機関等と連携し，学校内外の資源を有効に活用しながら「社会に開かれた教育課程」を実現する資質・能力を育成する。
- ・学校安全の確保へ向けた安全管理・危機管理を組織的に展開する資質・能力を育成する。
- ・教職員を適正に評価し，その能力や課題に応じて指導することを通して，一人ひとりの力量形成を図る資質・能力を育成する。
- ・特別支援教育の理念を理解するとともに，すべての児童生徒の発達を支援する学校教育を組織的に展開する資質・能力を育成する。

学修の構成と課程は，所定の要件を満たす現職教員を対象とした修業年限1年の1年プログラムが設けられている。（別表2）

学修方法と学修支援，評価の方法は次のとおりである。

学修方法と学修支援

大学院生は，指導教員の指導の下で自ら立案した計画に沿って教育実習等で解決策を実践，経験し，学校における諸課題に主体的に取り組むことのできるよう，以下の学修方法と学修支援をとる。

- ・複数の指導教員による指導体制をとる。研究者教員と実務家教員，または教科教育専門の教員と教科内容専門の教員によるチーム・ティーチングを行う。
- ・「学校教育実践研究」等の教育実習に直接的に係る授業科目では，理論（座学）と実践（実習）を架橋し，その往還を図るべくアクティブ・ラーニングを始めとする指導方法をとる。
- ・＜2年プログラムのみ＞ 現職教員学生等に対しては，標準修業年限2年間のうち後半の1年間は，夜間等の時間帯で研究指導を認める。

評価の方法

- ・専攻共通科目，コース科目とも，試験，レポートによって評価する。教育実習科目は実習の記録・日録，授業参観によって，実践研究指導科目は実習の記録・日録，レポートによって評価する。
- ・修了時の実践研究報告書（最終レポート）は，所定の手続きにしたがって，指導教員を含む複数の教員によって評価を行う。

科目に関する別表1（1年プログラム（管理職養成コース以外）学修の構成と課程）

科目等 資質等		専攻共通科目 (基盤科目)	コース科目 (専門科目)	教育実習科目	実践研究 指導科目
主として養われる資質・能力	生徒指導・ 教育相談	児童生徒の理解と方法 教育相談の理論と実際 特別支援教育の心理学	学校カウンセリングの 実践法 生徒指導・キャリア教 育の方法 道徳教育の理論と実際 ほか	学校教育実 践実習4 学校教育実 践実習5	学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	学級・学校 経営	学級経営と学校経営の理 論と実践 教職実践協働運営演習	学級集団づくり・ソー シャルスキル教育の指 導法 学級経営における人間 関係の形成 学校の危機管理 ほか	学校教育実 践実習4 学校教育実 践実習5	学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	教科等の実 践的指導方 法	授業研究の理論と実践 特別支援教育の授業・教 育課程論 教育の情報化の研究と実 際	教材論と学習指導の実 際 国語科教育の理論と方 法 ほか	学校教育実 践実習4 学校教育実 践実習5	学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	教育課程の 編成と実施	学習指導要領と教育課程	カリキュラムの理論と 実践 教科経営の実際と授業 分析・評価 ほか	学校教育実 践実習4 学校教育実 践実習5	学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	学校教育と 教員の在り 方	教員の資質と職務 特別支援教育コーディネ ーター論 特別支援教育の基礎理論 教職実践の省察と事例研 究	ふるさと教育と総合的 な学習 人権教育の理論と実際	学校教育実 践実習4 学校教育実 践実習5	学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4

科目に関する別表2 (1年プログラム(管理職養成コース)学修の構成と課程)

科目等 資質等		専攻共通科目 (基盤科目)	コース科目 (専門科目)		教育実習科目	実践研究 指導科目
主として養われる資質・能力	ミッション・内外の動向理解	リーダーの役割と資質 教育の情報化の研究と実際	小学校外国語活動の実践と課題 人権教育の理論と実際 道徳教育の理論と実際	学校経営総論	学校教育実践実習4 学校教育実践実習5	学校教育実践研究3 学校教育実践研究4
	ビジョン形成・検証・改善	学級経営と学校経営の理論と実践 学校組織マネジメント演習 教職実践協働運営演習			学校教育実践実習4 学校教育実践実習5	学校教育実践研究3 学校教育実践研究4
	連携・資源活用	カリキュラム・マネジメント	福祉教育の理論と実際		学校教育実践実習4 学校教育実践実習5	学校教育実践研究3 学校教育実践研究4
	安全管理・危機管理	学校危機管理の理論と実践	学校の危機管理		学校教育実践実習4 学校教育実践実習5	学校教育実践研究3 学校教育実践研究4
	教職員の評価・指導・力量形成	授業研究と教師教育			学校教育実践実習4 学校教育実践実習5	学校教育実践研究3 学校教育実践研究4
	特別支援教育・児童生徒の発達支援	特別支援教育の基礎理論	インクルーシブ教育システムの構築 特別支援教育コーディネーター論		学校教育実践実習4 学校教育実践実習5	学校教育実践研究3 学校教育実践研究4

科目に関する別表3（2年プログラム及び3年プログラム学修の構成と課程）

科目等 資質等		専攻共通科目 (基盤科目)	コース科目 (専門科目)	教育実習科目	実践研究 指導科目
主として養われる資質・能力	生徒指導・ 教育相談	児童生徒の理解と方法 教育相談の理論と実際 特別支援教育の心理学	学校カウンセリング の実践法 生徒指導・キャリア 教育の方法 道徳教育の理論と実 際 ほか	学校教育実践 実習1 学校教育実践 実習3 学校教育実践 実習4 学校教育実践 実習5	学校教育実 践研究1 学校教育実 践研究2 学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	学級・学校 経営	学級経営と学校経営の 理論と実践 教職実践協働運営演習	学級集団づくり・ソ ーシャルスキル教育 の指導法 学級経営における人 間関係の形成 学校の危機管理 ほか	学校教育実践 実習1 学校教育実践 実習2 学校教育実践 実習4 学校教育実践 実習5	学校教育実 践研究1 学校教育実 践研究2 学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	教科等の実 践的指導方 法	授業研究の理論と実践 特別支援教育の授業・教 育課程論 教育の情報化の研究と 実際	教材論と学習指導の 実際 国語科教育の理論と 方法 ほか	学校教育実践 実習2 学校教育実践 実習4 学校教育実践 実習5	学校教育実 践研究1 学校教育実 践研究2 学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	教育課程の 編成と実施	学習指導要領と教育課 程	カリキュラムの理論 と実践 教科経営の実際と授 業分析・評価 ほか	学校教育実践 実習4 学校教育実践 実習5	学校教育実 践研究1 学校教育実 践研究2 学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4
	学校教育と 教員の在り 方	教員の資質と職務 特別支援教育コーディネ ーター論 特別支援教育の基礎理論 教職実践の省察と事例研 究	ふるさと教育と総合 的な学習 人権教育の理論と実 際	学校教育実践 実習4 学校教育実践 実習5	学校教育実 践研究1 学校教育実 践研究2 学校教育実 践研究3 学校教育実 践研究4

○教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のアドミッション・ポリシー

教育学研究科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

《子ども理解・特別支援教育実践コース，学級経営・授業実践開発コース，教科授業実践コース》

- ・ 学部教育で培った能力を発揮させ、学校教育への課題意識を持ち、問題解決に立ち向かう意欲を持っている。
- ・ 子どもを理解する力、授業を実践する力をより高めていく意欲がある。
- ・ 児童生徒の発達・教育に関する基礎知識・授業実践の基盤となる教科の基本的知識を持ち、基礎的な倫理性と教師に必要なコミュニケーション能力がある。
- ・ 特に現職教員では、自己の能力向上を目指すとともに、地域の教育界の充実に貢献する意欲がある。

《管理職養成コース》

- ・ スクールリーダーを目指す現職教員で、自己の能力開発と学校教育の充実・振興に貢献する意欲を持っている。
- ・ 児童生徒の発達や教育に関する知識を持ち、学校教育の現代的課題解決への意欲がある。
- ・ 学校教育に関する経験と実践力を有し、高度な倫理性とコミュニケーション能力がある。

2. 教育学研究科の構成と概要

本研究科には、教職実践専攻の1専攻を置く。教職実践専攻は教職大学院として認められており、修了すれば、教職修士（専門職）の学位が与えられる。

教職実践専攻は、教職と教科に関する高度な専門的知識と能力を習得し、学校教育における優れた実践能力と課題解決能力を備えた教員の養成を目指しており、本専攻には、子ども理解・特別支援教育実践コース，学級経営・授業実践開発コース，教科授業実践コース，管理職養成コースの4コースを置く。

3. 教育学研究科の専攻，コースで養成する人材像

専攻	コース	養成する人材像
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	子どもたち一人ひとりの個性と教育的ニーズを的確に把握し，適切な指導と支援を行うことのできる高い専門知識と実践力を持つ教員を養成する。
	学級経営・授業実践開発コース	活力ある学級を作り，効果的な授業を実践できるとともに，学級・学校の機能をより向上させるマネジメント能力と，適切な教育課程を編成する力，授業を改善する力等を備えた，高い実践力を持つ教員を養成する。
	教科授業実践コース	教科内容に対する確かな理解と児童・生徒に対する深い理解に基づき，各教科を効果的に指導することができる高い授業実践力を持つ教員を養成する。
	管理職養成コース	「長崎県校長等としての資質の向上に関する指標」に示された管理職に求められる高い識見を備え，高度な組織マネジメントを行う素養を持つ教員を養成する。

教育学研究科 専門職学位課程（教職実践専攻）のアドミッション・ポリシー

教育学研究科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

《子ども理解・特別支援教育実践コース、学級経営・授業実践開発コース、教科授業実践コース》

- ・ 学部教育で培った能力を発揮させ、学校教育への課題意識を持ち、問題解決に立ち向かう意欲を持っている。
- ・ 子どもを理解する力、授業を実践する力をより高めていく意欲がある。
- ・ 児童生徒の発達・教育に関する基礎知識・授業実践の基盤となる教科の基本的知識を持ち、基礎的な倫理性と教師に必要なコミュニケーション能力がある。
- ・ 特に現職教員では、自己の能力向上を目指すとともに、地域の教育界の充実に貢献する意欲がある。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

求める素質等		学部教育をもとに課題意識を持ち問題解決に立ち向かう意欲	子どもを理解し授業を実践する力を高める意欲	専門分野に関する基本的知識	基礎的な倫理性と教師に必要なコミュニケーション能力	能力向上を目指し地域の教育界に貢献しようとする意欲（現職教員）
一般入試 （1年プログラム）	成績証明書	○				
	研究業績書	○		○		
	実践研究計画書	○	○	◎		○
	レポート			○		
	推薦書					○
	面接試験	◎	○	○	○	○
一般入試 （2年プログラム・3年プログラム）	成績証明書	○				
	筆記試験（一部実技を含む）	○		◎		
	実践研究計画書	○	○	○		○
	面接試験	◎	○	○	○	○
外国人留学生入試	成績証明書	○				
	筆記試験（一部実技を含む）	○		◎		
	実践研究計画書	○	○	○		
	面接試験	◎	○	○	○	

《管理職養成コース》

- ・ スクールリーダーを目指す現職教員で、自己の能力開発と学校教育の充実・振興に貢献する意欲を持っている。
- ・ 児童生徒の発達や教育に関する知識を持ち、学校教育の現代的課題解決への意欲がある。
- ・ 学校教育に関する経験と実践力を有し、高度な倫理性とコミュニケーション能力がある。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

求める素質等		自己の能力開発と学校教育の充実・振興に貢献する意欲	児童生徒の発達や教育に関する知識	学校教育の現代的課題解決への意欲	学校教育に関する経験と実践力	高度な倫理性とコミュニケーション能力
一般入試 （1年プログラム）	成績証明書		○			
	研究業績書		○		○	
	実践研究計画書	○	○	○	○	
	レポート	○		○	○	
	推薦書	○			○	○
	面接試験	◎	○	○	○	○